

2023 年度

学修要項(シラバス Syllabus)

ICM 国際メディカル専門学校
医療事務学科

区分	授業科目	必修 単位	授業時間数	備考	実務経験のある教員等による授業科目	
					2023年度	単位数
共通科目	医学概論	1	20		○	1
	解剖学・生理学	5	75		○	5
	臨床医学	2	40		○	2
	医療情報学	1	20		○	1
	病院管理学	1	20		○	1
	医療関連法規	1	20		○	1
	診療報酬請求(医科)	10	160		○	10
	診療報酬請求演習(医科)	7	210		○	7
	DPC請求	1	15		○	1
	医事コンピュータ実習	1	30		○	1
	コンピュータ実習	3	90		○	3
	英語	3	45			
	心理学	2	30			
	日本語表現	1	15			
	コミュニケーション学	1	15			
	就職実務	1	15			
必修科目授業時数		41	820		11	33

2023 年度

学修要項(シラバス Syllabus)

ICM 国際メディカル専門学校
医療事務学科 第1学年
2023 年度入学生

授業科目 医学概論

【科目担当者】 小山 諭		【実務経験の有無および経歴】 有（医師として医療現場に従事 ）	
【単位数】 1	【時間数】 20 時間	【対象学年】 1 年	【開講時期】 後期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 医学と医療に関する歴史的変遷を学び、医療の現状を理解する。また、医の倫理、社会保障制度、医療制度など関連法規の知識を学び、医療の社会的役割を総合的に理解する。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1	医学と医療	講義	小山 諭
2	医の倫理	講義	小山 諭
3	脳死と臓器移植	講義	小山 諭
4	診療情報提供	講義	小山 諭
5～6	社会保障制度	講義	小山 諭
7	医療制度	講義	小山 諭
8	医療関連法規	講義	小山 諭
9	地域保健と公衆衛生（地域保健の組織と活動）	講義	小山 諭
10	包括医療（保健・医療・福祉）	講義	小山 諭
【使用教科書】 診療情報管理Ⅰ 日本病院会			
【評価方法】 授業態度・出席率 10％、期末試験 90％ 成績評価基準は学則に従い、A(80 点以上)・B(70 点以上)・C(60 点以上)・D(59 点以下)とする。			

授業科目 臨床医学総論

【科目担当者】 阿部 時也		【実務経験の有無および経歴】 有（ 医師として医療現場に従事 ）	
【単位数】 1	【時間数】 20 時間	【対象学年】 1 年	【開講時期】 後期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 病気になる原因、先天奇形、変形および染色体異常、損傷、中毒、その他の外因の影響など臨床医学についてを総論的に理解する。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1～3	病気になる原因とは 疾病の原因 検査所見 治療方針	講義	阿部 時也
4～6	先天奇形、変形および染色体異常について 神経系の先天奇形 呼吸器系の先天奇形 消化器系の先天奇形 染色体異常、他に分類されないもの	講義	阿部 時也
7～10	損傷、中毒、その他の外因の影響 軟部組織の損傷 各部位の損傷 薬物、薬剤および生物学的製剤による中毒 薬用を主としない物質の毒作用	講義	阿部 時也
【使用教科書】 診療情報管理 I 日本病院会			
【評価方法】 授業態度・出席率 10%、期末試験 90% 成績評価基準は学則に従い、A(80 点以上)・B(70 点以上)・C(60 点以上)・D(59 点以下)とする。			

授業科目 臨床医学各論（消化器・泌尿器系）

【科目担当者】 小山 諭	【実務経験の有無および経歴】 有（ 医師として医療現場に従事 ）		
【単位数】 1	【時間数】 20 時間	【対象学年】 1 年	【開講時期】 後期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 消化器・泌尿器系の疾病を中心に、特徴、症状、診断法、治療法等について理解する。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1～5	消化器系の疾患 口腔、唾液腺および顎の疾患 食道、胃および十二指腸の疾患 虫垂の疾患 ヘルニア 腸のその他の疾患 腹膜の疾患 肝疾患 胆のう、胆管および膵の障害	講義	小山 諭
6～10	腎尿路生殖器系の疾患 糸球体疾患 腎尿細管間質性疾患 腎不全 尿路結石 尿路系のその他の疾患 男性生殖器の疾患 女性生殖器の疾患	講義	小山 諭
【使用教科書】 診療情報管理 I 日本病院会 病気の地図帳 講談社			
【評価方法】 授業態度・出席率 10%、期末試験 90% 成績評価基準は学則に従い、A(80 点以上)・B(70 点以上)・C(60 点以上)・D(59 点以下)とする。			

授業科目 医療情報学 I

【科目担当者】 浅野 彩夏		【実務経験の有無および経歴】 有（医療事務員として医療機関に従事）	
【単位数】 1	【時間数】 20時間	【対象学年】 1年	【開講時期】 後期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 医療情報の基礎を学び、医事コンピュータ、電子カルテへの理解につなげる。医事コンピュータ3級のコンピュータ関連知識の合格を目指す。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1	コンピュータの情報表現（進数、ビット、バイト）	講義	浅野 彩夏
2	コンピュータの5大装置と機能、周辺装置の種類	講義	浅野 彩夏
3	周辺装置の種類と特徴	講義	浅野 彩夏
4	インターフェイスの種類と特徴	講義	浅野 彩夏
5	ソフトウェアの種類と特徴	講義	浅野 彩夏
6	オペレーティングシステムの種類と特徴	講義	浅野 彩夏
7	アプリケーションソフトの基本操作理解	講義	浅野 彩夏
8	保健医療情報システムの概要	講義	浅野 彩夏
9~10	医事コンピュータ3級過去問題演習と解説	演習	浅野 彩夏
【使用教科書】 医事コンピュータ関連知識 建帛社			
【評価方法】 期末試験 50%、確認テスト 25%、学習意欲（出席状況含む） 25% 成績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			

授業科目 病院管理学

【科目担当者】 泉 綾		【実務経験の有無および経歴】 有（ 診療情報管理士として医療現場に従事経験あり ）	
【単位数】 1	【時間数】 20 時間	【対象学年】 1 年	【開講時期】 前期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 医療サービスの提供に関する組織、運営を理解する。また、病院で働くさまざまな職種について学び、医療事務員・診療情報管理士との関わりを理解する。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1	医療機関の種類	講義	泉 綾
2～3	病院で働く人の職種理解	講義	泉 綾
4～6	病院内の部門と仕事 診療部門 看護部門 副診療技術部門 事務部門 ハウスキーピング部門	講義	泉 綾
7～8	組織とは ライン、スタッフ、ライン・スタッフ、ファンクショナル組織	講義	泉 綾
9	人間関係論	講義	泉 綾
10	病院会計	講義	泉 綾
【使用教科書】 病院のマネジメント 藤井昌弘・岸田敏彦・丹野清美 共著 建帛社			
【評価方法】 授業態度・出席率 10%、チェックテスト 10%、期末試験 80% 成績評価基準は学則に従い、A(80 点以上)・B(70 点以上)・C(60 点以上)・D(59 点以下)とする。			

授業科目 診療報酬請求演習Ⅰ

【科目担当者】 浅野 彩夏		【実務経験の有無および経歴】 有（ 医療事務として医療現場に従事経験あり ）	
【単位数】 7	【時間数】 210時間	【対象学年】 1年	【開講時期】 前・後期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 診療報酬請求で学んだことを、カルテの問題演習で理解を深める。前期においては医療事務管理士認定試験（医科）、後期においては診療報酬請求事務能力認定試験（医科）の取得を目指す。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1～4	レセプト（上書き）	演習	浅野 彩夏
5～10	初・再診料	演習	浅野 彩夏
11～15	医学管理等	演習	浅野 彩夏
16～20	投薬	演習	浅野 彩夏
21～30	注射	演習	浅野 彩夏
31～35	在宅医療	演習	浅野 彩夏
36～40	処置	演習	浅野 彩夏
41～42	リハビリテーション	演習	浅野 彩夏
43～50	検査	演習	浅野 彩夏
51～52	病理診断	演習	浅野 彩夏
53～56	手術、麻酔	演習	浅野 彩夏
57～60	画像診断	演習	浅野 彩夏
61～62	精神科専門療法、放射線治療	演習	浅野 彩夏
63～65	入院料	演習	浅野 彩夏
66～70	レセプトの点検	演習	浅野 彩夏
71～84	医療事務管理士認定試験対策（総合問題）	演習	浅野 彩夏
85～105	診療報酬請求事務能力認定試験対策（総合問題）	演習	浅野 彩夏
【使用教科書】 医科点数サポートブック ソラスト 、 診療点数早見表 医学通信社			
【評価方法】 授業態度・出席率 10%、チェックテスト 10%、検定（医療事務管理士および診療報酬請求事務） 80% 成績評価基準は学則に従い、A(80 点以上)・B(70 点以上)・C(60 点以上)・D(59 点以下)とする。			

授業科目 D P C 請求

【科目担当者】 佐藤 紀子		【実務経験の有無および経歴】 有（ 医療事務として医療現場に従事 ）	
【単位数】 1		【時間数】 1 5 時間	【対象学年】 1 年
【開講時期】 後期			
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 D P C を導入している病院が増えている中、D P C での算定方法を覚え、出来高と比較し、理解を深める。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1	D P C 請求と支払のしくみ	講義	佐藤 紀子
2～3	診療報酬の算定	講義・演習	佐藤 紀子
4～6	レセプトの作成	演習	佐藤 紀子
7	変更、再入院の取り扱い	講義	佐藤 紀子
8	D P C 導入にあたって	講義	佐藤 紀子
【使用教科書】 D P C テキストセット ソラスト			
【評価方法】 授業態度・出席率 10%、期末試験 90% 成績評価基準は学則に従い、A(80 点以上)・B(70 点以上)・C(60 点以上)・D(59 点以下)とする。			

授業科目 医事コンピュータ実習Ⅰ

【科目担当者】 澤田 千賀子 浅野 彩夏		【実務経験の有無および経歴】 － 有（医療事務員として医療機関に従事）	
【単位数】 1	【時間数】 30 時間	【対象学年】 1 年	【開講時期】 後期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 診療報酬請求事務で覚えた知識を医事コンピュータで応用する。外来カルテ、伝票入力をする基本的知識を学び、医事コンピュータ検定 3 級合格を目指す。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1～3	医事コンピュータの基本操作	講義・演習	澤田 千賀子
4～7	カルテ形式での入力操作	講義・演習	澤田 千賀子
8～9	伝票形式での入力操作	講義・演習	澤田 千賀子
10～12	医科点数表の読みこなし（学科問題対策）	講義	浅野 彩夏
13～15	医事コンピュータ 3 級対策（総合問題）	演習	澤田・浅野
【使用教科書】 「医事 NaviⅢ」操作テキスト ケアアンドコミュニケーション、医科点数早見表 医学通信社 点数サポートブック ソラスト			
【評価方法】 授業態度・出席率 10%、確認テスト 10%、検定試験 80% 成績評価基準は学則に従い、A(80 点以上)・B(70 点以上)・C(60 点以上)・D(59 点以下)とする。			

授業科目 心理学

【科目担当者】 山之内 則雄		【実務経験の有無および経歴】 －	
【単位数】 2	【時間数】 30 時間	【対象学年】 1 年	【開講時期】 前期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 心理学の基礎的知識及び人間心理と人間の行動について学ぶ。医療現場において患者心理を意識した行動をとれるようになることを目標とする。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1	心理学の方法	講義	山之内則雄
2	発達心理学	講義	山之内則雄
3～4	精神分析学	講義	山之内則雄
5	認知心理学	講義	山之内則雄
6	行動の水準	講義	山之内則雄
7	古典的条件付け	講義	山之内則雄
8	習得的行動	講義	山之内則雄
9	意識と行動	講義	山之内則雄
10	対象物の永続性	講義	山之内則雄
11	遺伝と環境	講義	山之内則雄
12	刷り込み	講義	山之内則雄
13	記憶について	講義	山之内則雄
14	長期記憶	講義	山之内則雄
15	復習・テスト	講義	山之内則雄
【使用教科書】 はじめてふれる人間関係の心理学 榎本博明 著／株式会社サイエンス社			
【評価方法】 中間テスト 45％ 期末試験 45％ 課題提出・学習意欲（出席状況含む） 10％ 成績評価基準は学則に従い、A(80 点以上)・B(70 点以上)・C(60 点以上)・D(59 点以下)とする。			

授業科目 日本語表現Ⅰ

【科目担当者】 浅野 彩夏		【実務経験の有無および経歴】 —	
【単位数】 1	【時間数】 1 5 時間	【対象学年】 1 年	【開講時期】 前・後期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 就職・提出書類・病院実習の場にあった表記を学ぶ。国語力・語彙力を強化する。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1～2	手紙文（お礼状等）の書き方・封筒の書き方	講義・演習	浅野 彩夏
3～5	新聞を使った学習（書き写し、要約等）	講義・演習	浅野 彩夏
6～8	就職作文（原稿用紙の使い方含む）	講義・演習	浅野 彩夏
【使用教科書】 実践ビジネスマナー ウイネット			
【評価方法】 授業態度・出席率 20%、提出物（課題）40%、期末試験 40% 成績評価基準は学則に従い、A(80 点以上)・B(70 点以上)・C(60 点以上)・D(59 点以下)とする。			

授業科目 コミュニケーション学

【科目担当者】 浅野 彩夏 伊藤 満		【実務経験の有無および経歴】 — —	
【単位数】 1	【時間数】 1 5 時間	【対象学年】 1 年	【開講時期】 前期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 「話す・聞く」技術を総合的に学び、より効果的・的確に意見を伝えられるコミュニケーションの体得を目指す。 医療現場における患者・医療スタッフとのコミュニケーション力の基礎を身につけることを目標とする。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1	コミュニケーション検定の概要説明、コミュニケーションゲーム（匠の里）	講義・演習	浅野・伊藤
2	コミュニケーションゲーム（おもしろ村、コンセンサスゲーム）	演習	浅野・伊藤
3	コミュニケーション検定対策（聞く力、話す力、敬語の遣い方）	講義	浅野・伊藤
4	コミュニケーション検定対策（敬語・小テスト）	講義・演習	浅野・伊藤
5	コミュニケーション検定対策（来客応対、電話応対、接客対応）	講義	浅野・伊藤
6	コミュニケーション検定対策	講義・演習	浅野・伊藤
7	コミュニケーション検定対策	講義・演習	浅野・伊藤
8	コミュニケーション検定対策	講義・演習	浅野・伊藤
9	コミュニケーション検定	検定	浅野・伊藤
【使用教科書】 コミュニケーション検定初級 公式ガイドブック&問題集 サーティファイ			
【評価方法】 学習意欲（出席状況含む）5% 検定（コミュニケーション検定）95% 成績評価基準は学則に従い、A(80 点以上)・B(70 点以上)・C(60 点以上)・D(59 点以下)とする。			

授業科目 英 語

【科目担当者】 米田 春美		【実務経験の有無および経歴】 —	
【単位数】 3	【時間数】 4 5 時間	【対象学年】 1 年	【開講時期】 前・後期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 病院の受付での患者対応に必要な基礎的英語表現や語彙を学ぶことにより、日本語に不慣れた外国人患者が来院した際、その要望を理解し、病院側の指示を英語で伝えることができるようになることを目指す。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1	英語授業の目的、課題、試験内容、評価方法について Unit 1 急に英語で話しかけられた時対応する表現	講義	米田春美
2	Unit 2 基本情報についての質問① (名前、出身、出生地、年齢、兄弟の有無、趣味等)	講義	米田春美
3	Unit 3 基本情報についての質問②(住所、電話番号) 数字、序数、月、曜日	講義	米田春美
4~5	Unit 4 初診患者との会話 語彙①診療科名	講義	米田春美
6~7	Unit 5 病院内の案内	講義	米田春美
8~10	Unit 6 内科的症状についての質問 語彙②症状	講義	米田春美
11~13	Unit 7 怪我についての質問 語彙③身体各部の言い方	講義	米田春美
14~16	Unit 8 予診票の記入（既往症やアレルギーの有無についての質問） 語彙④病名	講義	米田春美
17~18	Unit 9 薬の飲み方の指示、頻度の言い方 語彙⑤薬	講義	米田春美
19~20	Unit 10 検査の予約、時間の言い方 語彙⑥検査	講義	米田春美
21	Unit 11 手術前の指示 筆記試験、口頭試験に向けた学習内容の総復習	講義	米田春美
22	口頭試験（患者対応に必要な英語表現を暗記して言う）	一対一の口頭試験	米田春美
23	筆記試験	筆記試験	米田春美
【使用教科書】 医学書院「クリスティーンのやさしい看護英会話」（知念クリスティーン、上瀧真紀恵 著）CD 含む			
【評価方法】 期末試験 60%、課題提出 5% 小テスト 5% 口頭試験 30% 成績評価基準は学則に従い、A(80 点以上)・B(70 点以上)・C(60 点以上)・D(59 点以下)とする。			

授業科目 コンピュータ実習

【科目担当者】 宮崎 雅子		【実務経験の有無および経歴】 有（ 企業内インストラクター ）	
【単位数】 3	【時間数】 90 時間	【対象学年】 1 年生	【開講時期】 前・後期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 講義および実習 検定試験（Word 3 級、Excel 3 級）合格、実務で活用できる応用力の取得			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1～5	入力、文書編集、印刷	講義・演習	宮崎
6	文書作成の基本操作 まとめ	講義・演習	〃
7～8	活用	講義・演習	〃
9	基本～活用 まとめ	講義・演習	〃
10～11	表作成、編集の基本	講義・演習	〃
12	表 実務での活用	講義・演習	〃
13～14	作図、図の利用	講義・演習	〃
15	図形まとめ	講義・演習	〃
16～22	検定試験（Word 3 級）対策	演習	〃
22～26	入力、計算式の基礎、表作成、印刷	講義・演習	〃
27	表作成 まとめ	講義・演習	〃
28～29	グラフ作成	講義・演習	〃
30	環境設定、管理	講義・演習	〃
31	基本機能 まとめ	講義・演習	〃
32～37	関数	講義・演習	〃
38～40	<u>データベース</u>	講義・演習	〃
41～45	検定試験（Excel 3 級）対策	演習	〃
【使用教科書】 Word 2 0 2 1 クイックマスター 基本編 Excel 2 0 2 1 クイックマスター 基本編 ウイネット			
【評価方法】 課題 4 0 % 授業態度 2 0 % 検定および試験 4 0 % 成績評価基準は学則に従い、A(80 点以上)・B(70 点以上)・C(60 点以上)・D(59 点以下)とする。			

授業科目 解剖・生理学

【科目担当者】 村山 ひとみ	【実務経験の有無および経歴】 有（看護師として医療・介護・保健事業の現場に従事 ）		
【単位数】 5	【時間数】 75時間	【対象学年】 1年	【開講時期】前・後期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 ①科目概要：医療事務系職種に必要な、カルテ読み込み、レセプト作成（主病）の理解、患者理解に関連した必要最低限の基礎医学を学ぶ。 ②授業方法・内容：正体的な資格試験合格範囲を意識して、重要箇所をノートまとめ、教科書マーカー引き、各章終了ごとにチェックテストを実施。 ③到達目標：医療事務管理士、診療報酬、医療秘書検定、医師事務補助作業、診療情報管理の資格試験における基礎医学系問題を解くことができる。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1～2	人体の各部と名称	講義	村山 ひとみ
3～4	人体の成り立ち（細胞・組織・器官・器官系）	講義	村山 ひとみ
5～6	人体の構成（染色体）	講義	村山 ひとみ
7～8	皮膚と膜（皮膚の三相構造、皮膚・粘膜・漿膜・滑膜）	講義	村山 ひとみ
9～12	運動器系（骨格系と筋系）	講義	村山 ひとみ
13～16	脳・神経系	講義	村山 ひとみ
17～20	循環器系（心臓・血管・リンパ系）	講義	村山 ひとみ
21～24	血液・免疫（血液の特徴と働き、白血球の機能）	講義	村山 ひとみ
25～26	腎・泌尿器系（血液ろ過・原尿・尿の生成）	講義	村山 ひとみ
27～30	呼吸器系	講義	村山 ひとみ
31～36	消化器系	講義	村山 ひとみ
37～38	内分泌系	講義	村山 ひとみ
【使用教科書】 診療情報管理Ⅰ 日本病院会 解剖生理学 メディカ出版 看護医学用語の読み方と意味 サイオ出版			
【評価方法】 期末試験 60%、チェックテスト 10%、レポート 10%、課題提出 10%、授業態度（出席状況含む） 10% 成績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			

授業科目 医療関連法規

【科目担当者】 浅野 彩夏		【実務経験の有無および経歴】 有（医事課職員として医療現場に従事経験有り）	
【単位数】 1	【時間数】 20時間	【対象学年】 1年	【開講時期】 後期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 医療機関の事務職員として働くうえで必要な医療関連法規のうち、現場で必要とされる医療法、健康保健法を中心に法律と仕事との関連を理解するとともに各種資格試験に備えることを目標とする。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1～3	医療法	講義	浅野 彩夏
4～5	従事者各法（医師法、薬剤師法など）	講義	浅野 彩夏
6～8	健康保険法	講義	浅野 彩夏
9	生活保護法	講義	浅野 彩夏
10	介護保険法	講義	浅野 彩夏
【使用教科書】 医療関連法規の完全知識 2023年版 医学通信社			
【評価方法】 期末試験 50%、確認テスト 25%、学習意欲（出席状況含む） 25% 成績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			

授業科目 診療報酬請求（医科）

【科目担当者】 木村 祐子		【実務経験の有無および経歴】 有（医事課職員として医療現場に従事経験有り）	
【単位数】 10	【時間数】 160時間	【対象学年】 1年	【開講時期】 前・後期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 診療報酬請求（医科）の基本を身につけるとともに、9月の医療事務管理士認定試験、12月の診療報酬請求事務能力認定試験（医科）の資格取得を目指す。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1~4	医療保険制度の概要	講義	木村 祐子
5	レセプトの上書き	講義・演習	木村 祐子
6~8	初診料の算定とレセプトの書き方	講義・演習	木村 祐子
9~11	再診料の算定とレセプトの書き方	講義・演習	木村 祐子
12~15	医学管理料の算定とレセプトの書き方	講義・演習	木村 祐子
16~20	投薬の算定とレセプトの書き方	講義・演習	木村 祐子
21~24	注射料の算定とレセプトの書き方	講義・演習	木村 祐子
25~27	在宅医療の算定とレセプトの書き方	講義・演習	木村 祐子
28~31	処置料の算定とレセプトの書き方	講義・演習	木村 祐子
32~33	リハビリテーションの算定とレセプトの書き方	講義・演習	木村 祐子
34~40	検査料の算定とレセプトの書き方	講義・演習	木村 祐子
41	病理診断の算定とレセプトの書き方	講義・演習	木村 祐子
42~46	画像診断の算定とレセプトの書き方	講義・演習	木村 祐子
47~49	手術料の算定とレセプトの書き方	講義・演習	木村 祐子
50~52	麻酔料の算定とレセプトの書き方	講義・演習	木村 祐子
53	精神科専門療法の算定とレセプトの書き方	講義・演習	木村 祐子
54	放射線治療の算定とレセプトの書き方	講義・演習	木村 祐子
55~65	入院料等・外来レセプトとの違い	講義・演習	木村 祐子
66~68	レセプトの点検	講義・演習	木村 祐子
69~70	公費負担医療	講義	木村 祐子
71~80	総合演習	演習	木村 祐子
【使用教科書】 医療事務講座（医科）テキスト1~3 サポートブック ソラスト 診療報酬点数早見表 医学通信社			
【評価方法】 期末試験 50%、確認テスト 25%、課題提出 15%、学習意欲（出席状況含む）10% 成績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			